

No. C01	Aグループ	年月日	令和5年7月2日(日)
---------	-------	-----	-------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

英語を活かした仕事をしたいと漠然と思いつつ、現状は経理部で働くCLが、経理部内での仕事ではスキルアップができないのではないかと不安に感じ、具体的な行動も起こせずどうしたら良いか困惑している。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

財務チームでの仕事では指導力等は身につかないと不安に感じつつ、新規事業に関わることにに対して漠然としか考えていないように見受けられるCLに対して、今必要なことを考え自己理解を深めてもらうため。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 英語を使った仕事に対する憧れはあるが、具体的な行動に移すことができず自己理解不足がある。また専門性の高い財務チームにおいて、会社から期待されている役割についての理解不足もある。

②その根拠 英語力を活かした仕事に対して「漠然と考えている」にとどまっており、具体的なスキルアップに向けての自己理解ができていない。また、専門性の高い本社の財務チームに転勤してきて「仕事の幅が広がらない」と言っていることより、会社が期待するスペシャリストとしての役割についての認識不足がある。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

不安や悔しさを感じながら、どうしたらよいか分からず悩んでいるCLの話を傾聴し、信頼関係の構築に努める。そのうえで、英語を活かした仕事に憧れる気持ちや同期が留学することに対して悔しく感じる気持ちに寄り添い内省を促す。そして海外で働く場合に必要なスキルを考えていただき、自身のスキルの棚卸しと照らし合わせ自己理解していただく。もう一方で、少数で専門性の高い財務チームの業務をするにあたり、会社から求められる役割について、上司等との面談機会を提案し、理解に努めていただく。最終的にはCL自身がスキルアップを目指して前向きに学習や仕事に取り組めるように支援させていただく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。
(2023.7)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C01	Bグループ	年月日	令和5年7月3日(月)
---------	-------	-----	-------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

英語の仕事がしたいと思い総合商社に就職したが、経理部で働いている。海外に同期が留学すると知り、自分と差がついてしまうと思っている。上司には異動申請をしているが実現せず、どうしたらよいかということ。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

海外駐在やグローバルなフィールドで新規事業の立ち上げ等に関わりたいとの漠然とした発言から、CLが具体的に何か行動を起こしているのかを伺ったことと、どのくらい英語の仕事希望しているのかを確認する意図。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 主な問題点は3つある。(1)今も仕事や英語の仕事、副業についての思い込みや仕事理解不足。(2)CLのやりたいことや今後のキャリアビジョンに対する自己理解不足。(3)上司や先輩とのコミュニケーション不足。

②その根拠 (1)今の仕事が専門性が高く仕事の幅が広がっていないところや副業についてもこれといったものがないという点。(2)英語の仕事希望しているが、簿記2級の資格しか持っていない点や、やりたい仕事について抽象的な考えである点。(3)上司や先輩は税務経験が長く、自分もこのままずっとこの部署にいることになってしまうのではないかとという点。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

まずは、CLの同期と差がついてしまうという不安な気持ちに寄り添いつつ、傾聴を続け、ラポールの形成を深める。そして(1)今の税務の仕事について棚卸しを行うことで整理を行うことと英語の仕事や副業についてはjob tagを使用し、一緒に調べて理解を深める。次に(2)CLのやりたい仕事について具体的な話を伺い、今後どのような仕事をしたいのか気持ちを整理して頂く。そして、(3)上司や先輩にCLが希望する仕事について相談できるような円滑なコミュニケーションを取れるように促す。その上で、同期と差がついてしまうことや将来への不安をひとつずつ取り除いていき、本当の気持ちに気づいて頂く。以上により、CLが前向きで主体的に職業選択を行い、ご自身が納得のいくキャリアビジョンを築いていけるような支援を行う。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。
(2023.7)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C02	Aグループ	年月日	令和5年7月4日(火)
---------	-------	-----	-------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

会社で、経理部税務チームで仕事をしているが、英語力を活かしたグローバルな仕事がしたい。
このままずっとこの部署にいることになってしまうのかと思い、将来が不安で相談にきた。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

相談者の考える将来どのようなキャリアを目指そうと思えるのか内省を促し、現在の考えや具体的に何をしているのかについて話してもらい、将来像を明確化するために、応答したと考える。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 主な問題は2つあると思われる。（1）自己理解不足から、将来像を描けずにいると思われる。（2）仕事理解不足から、グローバルでの仕事は、できないと思い込んでいるように見える。

②その根拠 （1）自己理解不足は、「グローバルなフィールドで新規事業の立ち上げ等に関わりたくて漠然と考えている」の発言から。（2）仕事理解不足は、「指導力やマネジメント力は身に付かない」、「海外で働く仕事から離れてしまうと思う」の発言からそう思われる。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

まずは、就活で、英語力を活かした仕事のできる総合商社に入社できず、今の会社の経理部税務チームで仕事をし、将来に悩む相談者に寄り添い、労いながら、今後について一緒に問題点を解消する。（1）自己理解不足は、上司への異動申請内容について話を伺い、何が必要であったのか一緒に検討。（2）仕事理解不足解消のために、社内で、指導力やマネジメントのロールモデルとなる存在について内省を促す。税務チームから海外異動の実績情報の収集についても考えて頂く。以上により、相談者が将来のキャリアを自律的に選択できるように支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2023.7)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C03	Aグループ	年月日	令和5年10月1日(日)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

英語が活かせるかと入社し、6年目の末次稀千々に所属しているが専門性が高く指導する経験もできず将来に不安を感じている同期が会社の意向で留学する事を知り差が開き、どうしよう良いか分からず相談したい

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答したと考えるかを記述せよ。

グローバルなフィールドで活躍したいと考えている相談者の気持ちを受け、具体的に行動している事があるかの事実確認を行うこと、また、将来についてどう促しているかの背景を確認する意図と考える

【設問3】 あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

- ① 問題 主問題と根拠は次の3点と考える。(1) 稀千々の仕事内容や求められている役割に関する仕事理解不足。(2) 同期と差が付いていると感じる自己認知感の低下。(3) 中長期的キャリアビジョンが不明確。
- ② その根拠 相談者の次の発言を根拠とする。(1) 専門的+末次稀の知識こそ習得できるもの、指導やマネジメントは身に付かない。(2) 「非常に差が開いてしまったと思うショックであったし悔しい」。(3) 「グローバルなフィールドで新規事業の立ち上げ等に関わりたいと漠然と考えている」「やはり取組むには」

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

同期と差が開いてしまい将来に不安を感じている相談者の気持ちに寄り添い、丁寧に傾聴を繰り返す。設問3の問題と相談者の同意を得ながら、次のように進めていく。(1) 上司や人事部と話す機会を提案し、稀千々の仕事と絡めた際の指導やマネジメントや役割について確認し、仕事理解を深めて頂く。(2) メンターやサポーターを案内し、自身の強み・経験・スキルを再認識し、自己認知感を上げて頂く。(3) キャリアビジョンの記入を提案し、長期的視点で今後のキャリアビジョンを思い描いて頂く。以上により、相談者が自己認知感を上げ、主体的に考え前向きに仕事に取り組めるよう支援することを検討する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2023.7)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C03	Bグループ	年月日	令和5年10月1日(日)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」（略A）の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

英語を話した仕事を希望するが、経理部事務員に働いている。専門的な知識は習得できない仕事の幅が広がらないと感じている。海外留学する同期と比較していると不安に思い、この先どうするか迷って来談。

【設問2】 事例記録の下線Bについて、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で質問を行ったと考えるかを記述せよ。

相談者が英語力を活かし海外勤務を希望を叶えるためにどのような能力やスキルが必要かを認識するよう自省を促し、自己理解を深める意図と相談者への理解を深める意図があると思われる。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

① 問題 主な問題は2点あると思われる。(1)英語力を活かしどのように働いていきたいのが、自身のキャリアプランに対する自己理解不足。(2)現在の経理部事務員の仕事への仕事理解不足。

② その根拠 以下の相談者の発言からである。(1)英語力を活かし新規事業の立ち上げに関わりたが、漠然と抱えていること、海外留学する同期と比較して不安になっていること、資格取得等の意欲も不明確な点。(2)経理の仕事は仕事の幅が狭く、専門知識が習得できないと考え、異動をしないと不安に思っている。

【設問4】 問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

相談者がこの先不安に思い気持ちに寄り添い、傾聴することによって心構えを整える。そこで、英語力を活かしどのように働いていきたいのかを認識するよう自省を促し、自己理解を深める。同僚が卒業した場合は、海外勤務経験者に話を聞く機会を設け、何を準備すべきかを一緒に整理して頂く。また、現在の経理の仕事についても4年の経験を共に相手お話し、専門知識の他に培ったことと今後から求められる仕事の役割の認識や人事制度にハマることを確認することによって仕事理解を促す。最終的には相談者が今後のキャリアプランを明確にし、前向きに働くことへと導くよう支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

No. C03	Cグループ	年月日	令和5年10月1日(日)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

得意の英語力を活かしたいと入社、本社税務チームに所属し4年目。専門性が高い仕事の為、幅が狭く指導経験も得られず、将来に不安を感じている。同期の留学を知り差が開き、見えない将来に焦っている。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

海外駐在やグローバルな新規事業の立ち上げに関わりたいとの漠然とした発言から、具体的な行動の確認を行う事。また、将来についてどう捉えているかの背景・自分の現状を把握できているかを確認する為。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 問題点は次の3点と考える。(1) 所属先での役割・評価・キャリア像に関する仕事理解不足。(2) 同期との差を感じ自己肯定感の低下。(3) 中長期的視点に欠け、自身の強み弱みの把握不足。

②その根拠 (1)「指導力やマネジメント力が身に付かない」の発言から仕事内容の一部しか見えていない点。(2)「同期を差がつきどうしたら良いのだろうか」の発言から同期と比べて不安を感じている点。(3)「漠然と考えている」「副業でもしょうか」の発言から視野が狭く、自分に向き合えていない点。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

同期と差が開いていると感じ将来に不安を感じている気持ちに寄り添い、傾聴を続けていく。(1) 上司や人事担当と話す機会を提案し、所属先での役割・期待感・キャリアが進んだ場合の仕事内容等の理解を深める。(2) 所属先での成功事例や、専門的な知識の習得ができている点などを振り返り、自身のスキルや経験の棚卸しにより自己肯定感を高める。(3) キャリアプランシートの記入を提案し、自身の強み・弱みを把握し現在取り組むべきことの理解、また中長期視点でのキャリアビジョンを明確化し将来をイメージして頂く。以上により、相談者が主体的に考え、自信を持って今後の仕事や学習に取り組めるよう支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2023.7)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C03	Dグループ	年月日	令和5年10月1日(日)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

相談者は、得意の英語を活かし海外駐在を経験したいと考えているが、現在の所属部署は規模が小さい。同期とも差がついてしまい、指導力やマネジメント力が身に付かず、どうしたらよいのかという相談。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

今後のキャリアプランを相談者がどのように考え、現在取り組んでいることがあるのかを質問し、内省を促すことで、自己理解を深める意図がある。また、この後の応答をどのような方針とするか決めるため。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 (1) 英語力を活かしたキャリアプランに関する自己理解不足。(2) 税務チームの仕事への理解不足。(3) 異動や副業に関する人事制度の情報不足。以上の3点を相談者の主な問題点と考える。

②その根拠 (1) 相談者のキャリアプランが明確ではないため配属部署の規模、同期との差に捕らわれている。また、海外駐在を経験したい等、漠然と考えている。(2) 専門性が高く仕事の幅が広がらない。

(3) 所属部署から異動できない、副業の承認が取るのは難しい。以上の相談者の発言が根拠である。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

相談者がキャリアプランに関して漠然と考えていることに焦点を当て、海外駐在に関する価値観と感情を傾聴することで信頼関係の構築を行う。(1) それによって、英語力を活かしたキャリアプランについて質問し内省を促すことで自己理解の促進を図る。(2) 相談者自身の仕事内容について、税務チームから求められている知識や役割を質問することで仕事理解を促す。(3) 相談者の同意が得ることができれば、異動申請に関して上司に確認する機会を設けることや副業に関して人事部に確認する。最終的に、相談者が抱えている漠然としたキャリアプランを明確にしたうえで、最良な意思決定ができるように支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2023.7)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C04	E グループ	年月日	令和6年2月18日(日)
---------	--------	-----	--------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

英語力を活かした仕事をしたいが、現在の税務チームでは仕事の幅が広がらず指導経験もできないため不安である。同期の海外留学の話もあり差がついてしまうと思い、どうしていいかわからず相談に来た。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

グローバルなフィールドでの仕事に関わりたいという思いを受容し、海外駐在を実現するために具体的に取り組んでいることを確認し、相談者の内省を促しながら支援の方向性を見極める意図であるとする。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 主な問題は3つある。（1）英語力を活かした仕事の適性に対する自己理解不足。（2）税務チームの内容や役割についての仕事理解不足。（3）人事制度の海外異動申請や副業に関する情報収集不足。

②その根拠（1）「漠然と考えている」、「海外で働く仕事から離れてしまう」という発言より。（2）「専門性が高く仕事の幅が広がらない」、「指導する経験もできず」という発言より。（3）「異動申請を出しているがなかなか実現しない」、「人事部の承認をとるのは難しい」という発言より。以上を根拠とする。

【設問4】設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

相談者の同期と差がついてしまうという悔しい思いに寄り添い、引き続き丁寧に傾聴し信頼関係を構築していく。そして、上記（1）相談者の同意を得たうえで、マイジョブ・カードを活用して価値観や適性を整理し英語力を活かした仕事についての自己理解を促す。（2）税務チームの役割や仕事内容について、一緒に確認することで、仕事理解を深めていただく。（3）会社の人事部や上司と話す機会を持つことにくわえ、海外駐在や副業についての社内規定などを確認する等、情報収集できるよう提案する。以上により、希望する英語力を活かした仕事に就けるよう、相談者が主体的に意志決定できるように支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。
(2023.7)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C04	Fグループ	年月日	令和6年2月18日(日)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

英語を活かした仕事をしたいが、内定がもらえず大手素材メーカーに就職。現在は税務チームで仕事をしているが、海外駐在を経験したく異動申請を出したものの叶わず、どうしたらいいか迷っていて将来が不安で来談。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

「英語力を活かして海外駐在を経験したい」等の発言に対し、実現に向けた取り組みをしているかの内省を促し、相談者がどの程度スキル・能力を有しているかの把握と現状課題を明確化させるのが意図。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 主な問題は、次の2点と考える。（1）やりたいことが漠然としていて自己理解不足。

（2）英語を活かした仕事の実現に向けた情報収集や税務チームで働くことに対する仕事理解不足。

②その根拠 （1）「グローバルなフィールドで新規事業の立ち上げ等に関わりたい」「せっかくなら税理士の勉強をして資格を取るのも良い」等の発言。（2）事例記録を読み限り「ショックであったし、悔しい…」という発言から情報収集していないと思われる。また、「専門性が高く仕事の幅が広がらないと思う」という発言から。

【設問4】設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

まずは、英語が活かせず仕事の幅が広がらないことや、指導経験も得られず将来がとても不安である気持ちに寄り添い、信頼関係を構築する。そのうえで（1）自己理解不足については、マイジョブ・カードのキャリア・プランシートの作成の提案を行い、やりたいことについての内省を促し、中長期的なキャリアプランを一緒に探していく。（2）仕事理解不足については、上司や同期と会話する機会を設けていただき、求められている役割や仕事の幅についての理解を深めてもらう。くわえて相談者に必要な情報を収集するよう促す。以上をふまえ、相談者が自律的に将来を考え、最適な選択ができるように支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2023.7)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙